

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

事業所名:ほのかのおひさま

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
 評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	保護者の方のご意見
環境・体制整備	1	5	5	0	人数に合わせて各フロアを分けている。感染対策として、距離を取ったり、一つのテーブルで座る人数を限定したりしている。限られたスペースであるため、活動が限定されたり、クールダウンするスペースが取れなかったりする。	25	1	0	2	
	2	6	4	0	国で定められた基準を満たして配置している。保育士、児童指導員、看護師、作業療法士などの専門職を配置し、協力しながら支援を行なっている。	24	0	0	3	未回答1
	3	7	3	0	十分な環境とは言えないが、状況や場面、一人ひとりの特性に合わせた配慮を行っている。	25	0	0	3	
	4	9	0	1	毎日清掃している。十分に行き届いていないところもある。感染対策として消毒も毎日行なっている。	26	0	0	2	見る機会がない。
業務改善	1	9	1	0	毎日朝礼とスケジュール確認をしている。業務実施後に、反省会、振り返りを行なっている。	/	/	/	/	/
	2	4	4	2	外部評価は利用したことがない。	/	/	/	/	/
	3	10	0	0	年間の研修計画を設定し、実施している。法人の研修や事業所独自の勉強会、外部の研修に参加している。	/	/	/	/	/
適切な支援の提供	1	9	1	0	利用に際しての見学・体験時に、状況や課題、保護者のニーズの確認を行なっている。定期的に職員全員でモニタリングを行ない、状況確認や新たな課題の設定、適宜、保護者にニーズの確認を行ない、個別支援計画の作成をしている。	28	0	0	0	
	2	9	1	0	定期的なモニタリングを通して、支援方法のアセスメント、評価を行ない、具体的な支援内容について記載している。	28	0	0	0	
	3	8	2	0	一人ひとりに合わせた課題によって、個別に行なうものと集団で行なうものに分けて目標を設定している。	/	/	/	/	/

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価						
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	保護者の方のご意見	
適切な支援の提供 (続き)	4	9	1	0	個別支援計画の内容を職員全員が把握し、支援内容に反映されるように努めている。	28	0	0	0		
	5	10	0	0	職員全員で活動プログラムについての意見を出し合い、話し合っている。						
	6	9	1	0	固定化されたものもあるが、新しい取り組みができるよう考え、話し合いを行っている。	25	1	0	2		
	7	7	3	0	利用時間の長短があるので、フレキシブルに対応している。						
	8	10	0	0	毎日朝礼を行ない、スケジュールの確認をし、役割分担を決めている。						
	9	10	0	0	毎日反省会で振り返りし、支援内容や情報共有を行ない、次の支援に活かせるようにしている。						
	10	9	1	0	毎日支援記録を記入し、保護者に見て頂いている。支援記録以外にも、必要時には個別の経過記録を記載し、情報共有、振り返り行なっている。						
	11	10	0	0	モニタリング会議の日を設定し、職員が参加している。目標や支援内容についての評価を行なった上で、見直しをしている。						
	関係機関との連携	1	6	4	0	児発管や担当職員が参加している。					
		2	5	5	0	保護者を通じて情報共有を行なっていることが多い。訪問看護等への報告、連絡、相談をしている。					
	関係機関との連携 (続き)	3	4	6	0	主治医から必要な医療的ケアに対しての指示書を頂いている。緊急時の病院への連絡方法等についても確認している。					
4		5	5	0	児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間で支援内容等の十分な情報共有						
5		4	5	1	他事業所への移行に際し、相談や見学等の対応を適宜行なっている。相談支援専門員や他事業所の職員と情報共有している。						
6		3	5	2	県や市の連絡協議会に参加している。児童発達支援センターへの移行に際し、情報共有を行なっている。センターへ研修を依頼し、実施する予定としている。						
7		0	2	8	コロナ禍の為、実施することができていない。状況が落ち着いたら、実施を検討したい。	9	2	2	13	未回答2 コロナ禍につき	
8		0	4	6	コロナ禍の為、実施することができていない。状況が落ち着いたら、実施を検討したい。						

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	保護者の方のご意見
保護者への説明責任・連携支援	1	9	1	0	見学や契約の際に説明を行なっている。パンフレットや文書を準備している。	28	0	0	0	
	2	9	1	0	計画書を保護者に確認して頂きながら、説明を行なっている。	28	0	0	0	
	3	0	9	1	保護者からお話を伺い、適宜相談や助言を行っているが、ペアレント・トレーニングの視点は十分でないと感じている。今後は、研修等に参加し、専門性の向上を図っていききたい。	12	6	2	8	
保護者への説明責任・連携支援（続き）	4	9	1	0	日頃からお話を伺い、情報共有を行なっている。コロナ禍もあり、面談の実施の機会が少なくなっている。	27	1	0	0	
	5	6	4	0	保護者からお話を伺い、適宜相談や助言を行っている。コロナ禍もあり、面談の実施の機会が少なくなっている	22	4	1	1	
	6	0	4	6	コロナ禍の為、実施することができていない。状況が落ち着いたら、実施を検討したい。	4	2	8	13	未回答1 コロナ禍につき
	7	8	2	0	苦情があった場合は迅速に対応を行なっている。	12	2	0	13	未回答1
	8	8	2	0	視覚的な支援として写真やカードを利用したり、コミュニケーションツールとしてタブレットを利用したりなど、工夫している。	26	1	0	0	未回答1
	9	10	0	0	おひさま新聞の定期的な発行、ホームページのスタッフ通信の更新を行ない、発信している。	27	0	0	0	未回答1
	10	9	1	0	個人情報の取り扱いに留意し、業務を行っている。	26	0	0	1	未回答1
非常時等の対応	1	4	6	0	マニュアルを整備し、職員間でシミュレーションを行っているが、不十分などところもある。	19	1	0	7	未回答1
	2	6	4	0	1階の高齢者施設と共同で避難訓練を行っている。	14	0	0	13	未回答1
非常時等の対応（続き）	3	8	2	0	虐待防止委員会の設置を行ない、3ヶ月に1回話し合いをしている。年2回の研修を行っている。					
	4	6	4	0	身体拘束適正化の委員会を設置し、3か月に1回話し合いをしている。年2回の研修を行っている。やむを得ない場合の同意書、記録表を作成している。					
	5	7	1	2	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応					
	6	7	3	0	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底					